

情報通信月間参加行事 実施報告書

行事ID	主催団体	行事形式	行事名	開催日
C019	(国研)情報通信研究機構 (一社)電波産業会	3.ICTセミナー等	周波数資源開発シンポジウム2024	7月5日
開催場所		行事 参加者数	Webサイト・URL	
明治記念館		400名	https://www.arib.or.jp/image/osirase/news/1411.pdf	
行事実施概要・アピール等				

一般社団法人電波産業会は、総務省後援、情報通信月間推進協議会協賛のもと、国立研究開発法人情報通信研究機構と共催で、7月5日(金)に明治記念館 蓬莱の間(東京都港区元赤坂)において「周波数資源をどう使うのか～私たちの携帯や車が空や宇宙とつながる未来へ」をテーマに「周波数資源開発シンポジウム2024」を開催しました。

移動通信ネットワークについて、地上のみならず、海や空、宇宙までをつなぐ非地上系ネットワーク(NTN: Non-Terrestrial Network)の実現が、離島・海上・山間部等のカバーや自然災害などの非常時の代替通信手段として期待されています。

しかしながら、携帯電話等の爆発的な増加により、既に多くのシステムに周波数が割り当てられ、周波数資源は限界を迎えつつあるため、NTNの実現に向け、どのように周波数を確保して行けば良いかという課題があります。

本シンポジウムでは、NTNに関する電波政策や技術開発、周波数獲得動向、アプリケーションやビジネス展開、海外動向等について、各分野の専門家にご講演頂きました。

今回のシンポジウムでは、各演題における質疑応答、休憩時間における意見交換も活発に行われ、参加者はオンライン配信も合わせて総勢400名と、盛況のうちに終了しました。



総務省総合通信基盤局
電波部長 荻原直彦 氏

総務省総合通信基盤局
電波部電波政策課長 中村 裕治 氏